

地域に開かれた保育所の活動に関する調査研究報告書

II. 調査研究実施保育園の報告

6 おおとり保育園（山口県 山口市）

(1) 事業の目的

- ・親子で集い、皆で遊び子どもと共に生活することの喜びを味わったり、悩みを語りあったりしながら友だちの輪を広げます。
- ・地域の人々が、保育園に関心を持ち、気軽に足を運べるよう働きかけ子育てについて共に考える場を設けます。
- ・人との出会い、自然、文化とのふれあいを通して、素直で優しい心、豊かでしなやかな感性を育てます。
- ・保育園の機能や専門性も取り入れ、地域の子育て全体を支えます。

(2) 主な事業の取り組み

◆交流保育

◎ふれあい保育（期間1年）

実施日（グループごとに毎月1回・延べ12回開催）

場所 おおとり保育園 ふれあいる～む

担当 主任及び子育てセンター職員

実施内容 現在12グループ、170組の親子の登録があります。参観ではなく親子で参加できる遊びの内容を検討し、保護者同士のつながり、仲間意識を育てるよう努力しました。季節ごとの歌や手遊びはもちろんですが、母親同士の何気ないおしゃべりの中で子育ての不安が解消できたり、ストレスを発散したり。特におしゃべりは、心のビタミン剤となるようです。

◎保育所体験

実施日 平成15年10月2日（木）10:00～11:30

3日（金）〃

11月5日（水）〃

6日（木）〃

場所 おおとり保育園 ふれあいる～む

担当 子育てセンター職員

参加人数 11組（平均）

実施内容 6回とも参加者が10組前後ということもあり、ゆつたりと会を進めることができました。申込み理由を尋ねてみると「子どもとどうやって遊んでいいのかわからない」とか「集団になじめない」「離乳食の進め方がわからない」などという不安を抱いていらっしゃる母親が目立ちました。逆に育児休業中であり保育園への入園を希望されている方は少数でした。まずは子育てを一人で悩まないことが大事であり、このような機会に参加することで母としてのゆとりと自信を取り戻し、

落ち着いて子どもと向き合えるような親子関係を期待したいものです。少人数のためか、お一人お一人の気持ちや思いがよくくみ取れて良かったと思います。

◎ママになる人なった人（マタニティー講座）

実施日 平成15年7月9日（水）10：00～11：30

10月15日（水）〃

12月4日（木）〃

場所 おおとり保育園 ふれあいる～む

講師 助産師 北村美紀先生 米屋麻香先生

参加人数 15組（平均）

実施内容妊産婦を対象にした交流会です。助産師が対応することで、センター担当者だけでは対応できない専門的なアドバイスができます。お茶を囲んでのざっくばらんなスタイルが好評です。第一子のみでなく第二子、三子出産の方の参加もあり、子育ての先輩のアドバイスも入り、話の幅もぐんと広がりました。

◆子育て講座の開催

◎子育て講座Ⅰ「応急手当講習」

実施日 平成15年10月1日（水）9：00～12：00

場所 おおとり保育園 ふれあいる～む

講師 山口地域消防組合 消防本部より

参加人数 20組

実施内容応急手当基礎知識の講義の後、実際に人形を使い、蘇生法を学習しました。いざという時に慌てないためにも良い勉強になりました。

◎子育て講座Ⅱ 乳幼児の病気の対処について

実施日 平成15年11月13日（木）13：30～15：00

場所 おおとり保育園 なかよしる～む

講師 松尾清巧（まつお小児科院長）

参加人数 24組

実施内容嘱託医でもある松尾先生にお話していただきました。何より日頃から母親が子どもの様子、健康状態をしっかり把握しておくことが大事になります。受診の心得についてやインフルエンザシーズンの到来についてのお話など、母親たちにとっても興味深く、熱心に耳を傾けたり、積極的に質問が出たりしました。

◎子育て講座Ⅲ「心と体の健康・ベビーマッサージ」

実施日 平成15年12月3日（水）10：00～11：30

場所 おおとり保育園 ふれあいる～む

講師 橘きよ美先生（看護師・ベビーマッサージ講師）

参加人数 30組

実施内容お知らせと同時にすぐに定員となる程、興味、関心の高さが伺えました。

マッサージは特別なことではなく、日常的なこととしてとらえてほしいという先生のお話が印象的でした。ママも赤ちゃんも、とてもリラックスした表情が見られ楽しい時間を過ごすことができました。ただ一度に 30 組というのはスペース的にも狭く、定員、場所等を次回は検討していきたいと思えます。

◆出張支援（園外活動）

◎元気っこあつまれ

実施日 平成 15 年 10 月 7 日（火） 10：00～11：30

場所 武道館（山口県スポーツ文化センター内）

担当 主任及び子育てセンター職員、保育士のお手伝い 2 名

参加人数 90 組

実施内容 スポーツ施設での遊びの会であり、伸び伸びとダイナミックに遊べるとの声も聞かれます。毎回 100 組近い参加があるので、よりいっそう友だちの輪が広がるようきっかけ作りをしていきたいと考えます。

◎秋のふれあい遠足&元気っこ撮影会・写真展

実施日平成 15 年 10 月 23 日（木） 10：00～13：00

10 月 29 日（水） 13：30～15：00

場所 亀山公園 ふれあい広場

講師 佐藤智朗先生（山口芸術短期大学幼児教育科助教授）

担当 子育てセンター職員

参加人数 30 組

実施内容 秋の自然に触れながら戸外遊びを楽しんだ後、佐藤先生の指導で秋の一コマ撮影会を実施しました。皆、子どものかわいい表情を追いかけるのに大ハッスルでした。それぞれが撮ったお気に入り写真をレイアウトし、後日写真展を開催し地域の方にも見ていただきました。（11 月 25 日～12 月 19 日於山口信用金庫吉敷支店）

◎老人保健施設「悠々の里」の訪問

実施日 平成 15 年 11 月 12 日（水） 10：30～11：30

参加者 年長 ひまわり組 32 名 保育士 4 名

実施内容 毎年恒例になっている行事です。おじいちゃん、おばあちゃんたちと施設の職員による寸劇を見せてもらい、一緒に泣き笑いの楽しい時をすごしました。年長児は折り紙のプレゼントとダンスを披露しました。たくさんの拍手や励ましの言葉、暖かいまなざしを受け、子どもたちなりに命の尊さ、優しさ、いたわりの気持ちをもってくれることを望みます。

◆地域の達人を招いて

◎抹茶教室

実施日 平成 15 年 10 月 24 日（金） 11 月 21 日（金） 12 月 12 日（金）

場所 おおとり保育園 さくら学級

講師 松原伴江先生 お手伝い1名

参加者 年長ひまわり組 32名 保育士3名

◎おはなし“ぐるんぱ”による絵本、エプロンシアター、指人形他

実施日 平成15年10月28日(火) 11月25日(火)

場所 おおとり保育園 さくら学級

講師 岡田裕美さん

参加者 地域の親子及び園児、職員 200人

◎パネルシアター 赤田文庫

実施日 平成15年10月31日(金) 11月14日(金) 15月5日(金)

場所 おおとり保育園 さくら学級

講師 前田繁さん

参加者 園児及び職員 170人

◎ガーデニング講座

実施日 平成15年12月1日(月) 10:00~12:00

場所 おおとり保育園 ふれあいる~む

講師 多々良美春さん(多々良造園)

参加者 地域の親子及び職員 40人

実施内容 地域に開かれた活動を展開していくには、地域の方にもっと保育園のこと知ってもらうことが第一だと考えました。そこで今年度は園の開放日を主に“地域の達人”に来園していただく機会を設けました。日頃とは違う空間に子どもたちは引き込まれ、少し緊張したり、いつもは演じる側の保育士も子どもたちと一緒にお話の輪に入ることができ子どもたちの表情をみながら日頃の保育を見つめ直すことができました。また、多様な人々が園を訪れることにより、最初は戸惑っていた子どもたちも自然とコミュニケーションの方法を覚えたようです。そして何より快くお引き受け下さった地域の方に感謝したいと思います。

◆特別保育

市内の多様化した保育ニーズに応える多機能型保育園として以下の特別事業も行っています。

◎一時保育(月平均利用人数 延べ230人)

◎学童保育(小学校1年~3年 24名在籍)

◆その他

◎育児相談

◎リフレッシュ活動

る~むの空き時間を利用して趣味の時間を楽しんだり、自主的にサークル活動をしています。

広報活動として毎月のセンターだよりをサークル会員の方へ配布するとともに年3回新聞広告でイベントをお知らせし、広く参加を呼びかけています。

(3) 今後の課題と展望

現代社会の核家族化、少子、虐待問題など、家庭の孤立化がすすむ中、保育園が子育て支援の中心的な役割を担うのはいうまでもありません。子育ての不安や悩みを解消するためにあらゆる行事に取り組んできましたが、今一度、保護者や地域に耳を傾け、今地域に何が必要なのか？ どういった支援が求められているのか？職員一人ひとりが自己を振り返ると共に考えることが大切だと思います。そのためには地域のあらゆるネットワークと連携し情報を収集したり、共有することが大切です。地域の祭りやイベントに積極的に参加したり、保育園の行事に地域の方を巻き込むなど、保育園の垣根を低くして、もっと関心をいただくよう努力していきたいと思います。

「子どもがまんなか、みんなで子育て」、おひとり保育園は、誰もが気軽に訪れることができる地域に根ざした子育ての拠点として今後も積極的にアピールしていきたいと考えています。

(写真 例)

マタニティー講座

ふれあい遠足

おはなし “ぐるんぱ”

赤田文庫 パネルシアター